

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2019

No.164

令和元年5月21日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555

メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

話して 笑って 頭の体操 しませんか

コミュニケーション麻雀



会長あいさつ

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会

会長 田中 光朗



今年は桜の花が残る中、入学式を迎え、新年生たちは元気に登校しています。

そして新緑燃ゆる5月、爽やかな風がそよぐ季節。新天皇即位と共に「令和時代」がスタートしました。戦争や災害のない平和な良き時代となるよう願っています。

一昨年7月5日の北九州北部豪雨災害、昨年7月6・7日の西日本豪雨災害と2年連続して豪雨災害が発生しました。皆さま方の義援活動に支えられ復旧作業は進んでいますが、まだまだ完全復旧にはほど遠く、被災者の方々の心身的苦労が続いております。一日も早い復旧を願い、安心して暮らしていける日常に戻るよう社協としても、今後も支援活動に努めていきたいと思います。

さて、町民の皆さまには、日頃より社協事業の推進に対し、温かいご理解とご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、社協の事業は乳幼児から高齢者まで福祉の分野で多岐にわたっています。また事業の活動資金は、町民皆さまからの賛助会費や赤い羽根共同募金、寄付金等多くの方々の善意によって支えられており、厚くお礼申し上げます。

近年急速に進む少子高齢化・人口減少社会において、地域の「つながり」「きずな」が衰退し、福祉力が弱くなっていると言われます。このような社会環境の中、支えあいの心をもつ「地域共生社会」の実現に向けて、支え手・受け手、世代間や分野の関係をこえて取り組み、福祉の充実、また多様化する町民の方々からのニーズに対応するべく、社協役職員一丸となり、「誰もが安心して暮らしていける地域づくり」を目指し推進してまいります。

これからも町民の皆さまをはじめ、関係機関・関係福祉団体及び福祉施設各位のなご一層のご理解とご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

役員変更

桂川町老人クラブ連合会選出の理事が、平成30年9月30日付で辞任され、3月25日付で、後任者が選任されましたのでお知らせします。

新役員	旧役員	選出母体
大村 和夫	前田 説生	桂川町老人クラブ連合会 (敬称略)

苦情解決体制について

桂川町社会福祉協議会の事業について、利用者や関係者など皆さまからの苦情に適切に対応するため、左記担当者が解決に努めます。

なお、職員には言いにくい相談や職員の説明に納得できない場合は、第三者委員に直接申し出ることができます。

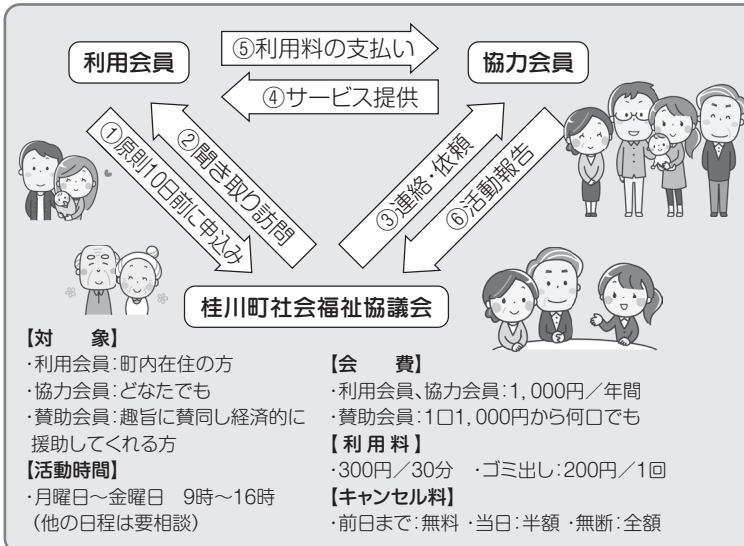
また、本会事業やサービスについて、お気づきの点があれば、遠慮なくご連絡ください。

苦情解決責任者	三宅 浩志(事務局長)
第三者委員	原中 政道(社協監事) 電話 65-3011 尾崎 龍司(社協評議員) 電話 65-2295 花岡 早織(職員) 河原 美奈子(職員)
苦情受付担当者	中山 真弓(学童支援員) 伊藤 祐子(学童支援員)
桂川町社会福祉協議会 電話 65-2271	

たすけあい桂川

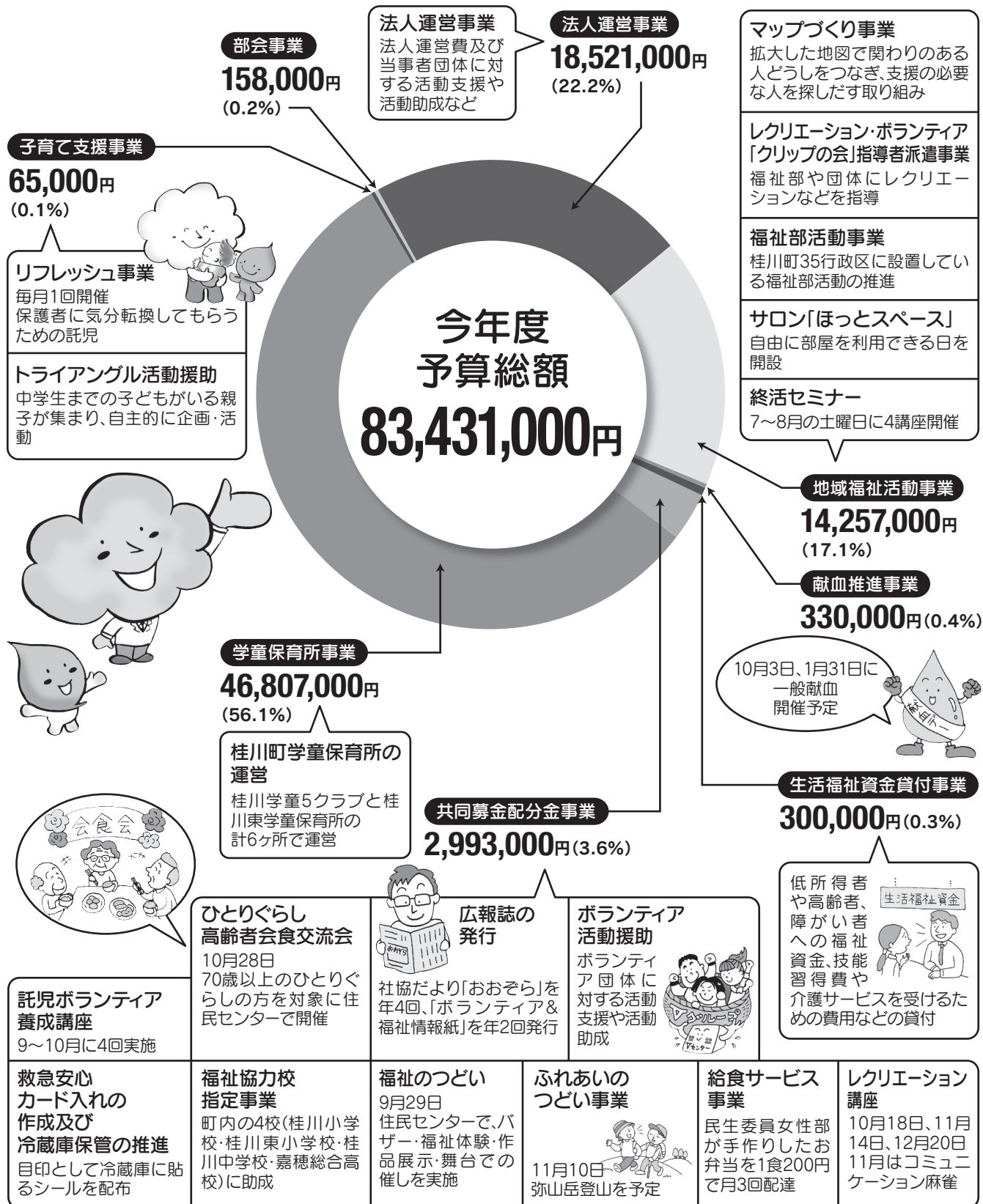
自分だけではできないような、ちよつとした日常の困りごとを、会員同士で一緒にお手伝いする会です。「掃除や買物に困っている」「病院の付き添いをお願いしたい」「家具をちよつと移動したい」などの困りごとが寄せられ、可能な限り対応していますが、お手伝いをしていただく協力会員が不足しています。

「自分の得意な事を活かしたい」「地域の役に立ちたい」そんな思いの方、会員になつて一緒に活動していただませんか。



基本方針

桂川町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、社会福祉を目的とする事業の企画運営を役職員が一丸となって取り組みます。また、深刻な生活課題や社会的孤立などの新たな地域福祉の課題にも向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援の解決に行政、各種団体、社会福祉関係者、地域住民と連携しながら「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を推進いたします。



自分の「想い」を
楽しく出し合い
整理をする時間

明るく楽しく学ぶ 「終活セミナー」

～ 桂川版エンディングノートを活用します!! ～

終活の第一歩として、自分の想いや希望を整理し、楽しく安心してより良く生きていくための方法を、一つ一つ丁寧に指導していただきます。

今回は、ゲームやクイズ形式を取り入れ、テーマ別にみなさんの考えや想いを出し合う時間、桂川版エンディングノートを記入する時間を多く設けます。

このノートにあなたの想いを書きながら、これまで生きてきた人生や、これからどのような人生を過ごしていきたいかを少しずつ整理して、形にしていきませんか？

日 程	内 容
7月13日	想いを整理して形に① ～終活で必要なこと、今だからこそできること～
7月20日	桂川町の高齢者施設を知る ～各施設からの説明紹介～
7月27日	想いを整理して形に② ～介護が必要になった時、病気の告知、延命治療のこと～
8月 3日	想いを整理して形に③ ～意外と知らない葬儀・お墓のこと～

◎講 師 終活パートナー九州 代表 眞武 純哉さん

◎曜 日 全て土曜日

◎時 間 10時～12時30分

◎場 所 住民センター「会議室」

◎対象者 関心のある方（1回だけの参加でも可能）

◎参加費 桂川版エンディングノート購入費用1,050円

※既に購入済の方は不要



終活相談会

一人で考えても整理がつかないことを一緒に解決していきます！

◎日 程 偶数月第4木曜日

6月27日、8月22日、
10月24日、12月26日、
2月27日

◎時 間 10時～12時

（事前予約必要 一人40分）

◎場 所 いきいきセンター
「桂寿苑」

◎費 用 無料

◎相 談 員 終活パートナー九州
代表 眞武 純哉さん

◎相談内容 遺品整理、葬儀、海洋散骨、
お墓じまい、お墓管理、お
墓参り代行、死後委任事
務、離檀交渉、介護付き旅
行、生前遺影撮影、ペットの
葬儀など

※予約なしの場合、対応できないことがあります。



学童保育所 「夏休み」のみ利用児童募集

学童保育所は、保護者が就業や疾病などのために、保育を必要とする家庭の児童に対し、安全の確保や健全育成を図るための施設です。

夏休みのみの利用を希望する方は、下記のとおり申込をお願いします。

◎対 象 町内小学校に在籍する小学1年生から6年生

◎募集定員 桂川学童保育所 若干名
桂川東学童保育所 定員に達しているため募集なし

◎日 時 7月22日（月）～8月31日（土）※日曜日・祝日は除く
8時～18時30分

◎利 用 料 子ども一人6,000円（2人目以降3,750円）
傷害保険料一部負担800円
※保護者会費1,000円やおやつ代2,250円が別途必要

◎申込期間 6月3日（月）～21日（金）

◎申込用紙 各学童保育所、社会福祉協議会、住民課、
子育て支援課で配布中

◎申 込 先 桂川町社会福祉協議会（いきいきセンター「桂寿苑」内）
※土・日・祝日を除く8時30分～17時15分まで
各学童保育所
※日・祝日を除く14時～18時30分まで
土曜日は8時～18時30分まで



リフレッシュ事業

今年度から毎月実施することになりました。

買物へ、ランチへ・・・お子さまをお預かりしている間、日頃できない事にゆとり時間を使ってみませんか？あなただけの時間を楽しんでください。

◎日 程 6月12日、7月17日、
8月21日、9月11日、
10月9日、11月20日、
12月11日、1月15日、
2月12日、3月18日
（全て水曜日）

◎時 間 10時30分～13時30分

◎場 所 いきいきセンター桂寿苑

◎定 員 10名程度

◎託 児 子育て支援Wa-Waが担当

◎対 象 桂川町在住で生後3カ月から
未就園児

◎費 用 一人100円（おやつ代含む）

◎持 参 物 お弁当、飲み物、着替え、
その他必要な物

◎申 込 実施日1週間前までに要申込
（余裕があれば当日受付できます）



福祉部委嘱状交付式 & 地域福祉講演会

桂川町には現在35行政区があり、それぞれに福祉部が設置されています。福祉部では年間計画に基づき、福祉部長や福祉員が中心となり、サロンの開催や世代間交流、見守りや声かけなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

今後高齢者が更に増加すると見込まれる中、社会保障費の増加を抑え、何よりも最後まで自分らしく生活するためには、病院や施設よりも住み慣れた地域で生活する仕組みづくりが必要です。国は、団塊世代が75歳以上となる2025年をめどに、住まい・医療・介護・予防・生活支援といったサービスを切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を掲げています。

この中で、地域住民やボランティア団体などに期待さ

れ、必要とされる役割は何か、そして少しでも実現につなげていくためにはどうすればよいのか、皆さんと一緒に考えていきます。

期 日 6月22日(土)

場 所 住民センター大ホール

時 間 12時45分 受付

13時00分 福祉部委嘱状交付式

13時10分 特定健診について

13時20分 福祉部活動の実践報告

13時30分 地域福祉講演会

講 師 福岡県立大学 社会福祉学科

准教授 村山 浩一郎 さん

表紙関連記事

コミュニケーション麻雀をしませんか?!

交流しながら手先を動かすため、脳が活性化されて認知症予防に効果があると、今大変注目を浴びています。

ルールは誰でも簡単にできるように工夫されており、協力し合いながらにぎやかに楽しめるものです。

今回幸運にも、「桂川町の方々にお世話になったお礼に」と吉村絹枝様・(故) 門見学延様より、コミュニケー

ション麻雀2セットを桂川町社会福祉協議会に寄付していただきました。

「町民のみなさんがつどい、楽しく交流できる場で役立ててもらいたい」と希望されているように、地域や団体に貸し出しをおこないますので、ぜひご利用ください。

特 徴

① 麻雀牌が大きい

縦10cm、横7cm、奥行き5.2cmの「たわしサイズ」。

重さは約240gと若干重いが、しっかりつかんだり、かき回したり転がしたりすることで手首や腕の筋トレになる。

② 個人ではなくコミュニケーションが大切なチーム戦

2～3人で一組となり、「次はどうする?」「どんな手で集める?」などおしゃべりや相談をしながら楽しめる。また、テーブルが約1m80cm四方の大きさにもなるため、反対側の牌には手が届かない。そこで「はいどうぞ」「〇〇さんありがとう」と自然に交流が生まれる。

③ いろいろな遊び方ができる

麻雀の他にも、クレーンゲームやマッチングゲーム、数合わせゲームなど、さまざまなコミュニケーションゲームが楽しめる。





お花見

桜の花が咲き揃った4月初旬。行事企画の「お花見」へ行ってきました。

残念ながら前日の花日和ではなく、お天気も曇り空で風も吹き、肌寒なお花見となりました。

数日前から楽しみにしており、気分もワクワク♪いざ王塚古墳へ出発！到着するなり「寒い」の一言。

昨年は、桜も散り、眺めることが出来ませんでした。今年は満開。見事な桜に「とても綺麗」との声と、利用者さんのほころんだ顔。早速お弁当タイムとなり、「待ってました!!」という笑顔。



仲良しの利用者さん同士、会話をしながら、シートを広げて食べました。その後は、散策をしたり、ボール遊び、シャボン玉をして各々で楽しんでいました。

お天気は味方をしてくれませんでした。日本独特の季節と美味いお弁当を食べ、紅白饅頭も頂け、心と体で満喫した日となりました。

支援員 永末 郁恵



大きな家族を目指します



すホームです。

定員は9名で、その方の状態に合わせ食事の支度、掃除、洗濯などをスタッフとともにしています。

グループホーム あゆみ2番館は、認知症の年寄りの方々がスツツの介護のもと、共同生活を営み、自立を目指

先日、あゆみと合同で、桂川町グラウンドゴルフ場横の公園へお花見に行きました。天気も良く、満開に近

い桜の花に「きれいなね」と喜ばれ、その後は皆さんでお弁当を食べました。職員も一緒に談笑し、桜の下で写真撮影をして、お花見を終えました。

帰り道でも「来てよかった」「お弁当も美味しかったね」と楽しそうでした。

このような季節を感じるレクリエーションを、定期的に行っています。これからも職員一同協力し、入居者の方とみなで大きな家族を目指していきたいと思っています。施設の見学や相談等お気軽にお問合せください。

管理者 田村 優樹



平成31年2月1日～平成31年4月30日

松田喜代子様(故母ハギノ様)

このひとに聞きました

はらだ せんじ
原田 宣次さん

プロフィール

◎年齢 69歳
◎住所 豆田
◎趣味 魚釣り
自然散策
登山など

■聞き手
尾崎 龍司
谷口 裕司

平成8年桂川町補導員、現在は飯塚警察署少年補導員連絡会会長の他、多くのボランティア活動をされている原田さん。長年桂川町の青少年健全育成のために尽力し続けておられるその思いを伺いました。

Q1 補導員とは？

一言で言えば、青少年の非行防止、健全育成を手助けする団体です。補導員の文字のごとく、少年たちを導いていく人のことで、「地域の青少年は地域で育てる」という思いで活動しています。

Q2 桂川町の補導員数は？

学校や関係機関、行政区より推薦された方46人と、飯塚警察署長より委嘱を受けた警補導員10人、計56人が在籍しています。町独自の補導員がいるのは珍しいことです。

Q3 主な活動は？

登下校や祭りなどイベント会場での補導巡回による見守りや声かけ、夜間補

Q4 苦勞したことは？

平成17、18年の頃、中学校が荒れに荒れ、手の付けられない状態がありました。その時は夜間補導に出ればあちこちに少年たちがたむろしており、注意しても焼け石に水。喫煙、飲酒、シンナーなどもこのように指導したら良いのか悩む日々が続きました。

Q5 苦勞が報われる時は？

時が経ち、当時の少年たちと祭り会場やスーパ―などで偶然出会う時に、先方から声をかけてくれ、立派に更生して成長した姿で、結婚の報告や子ども、奥さんを紹介する屈託のない笑顔を見せてくれた時などです。

Q6 今の桂川町の子どもたちの様子は？

以前と比べると、素晴らしい良くなったと思います。元気に登校、あいさつも自然にでき、勉強やクラブ活動に励む姿は、頼もしくさえ感じます。今の状態が恒久的に続くことを願います。

子どもたちから元氣をもらおう

編集後記

桂川町民生児童委員協議会の給食サービス事業が「一人暮らし見守り活動」の県知事表彰を受けました。生活全般と多岐に渡る活動の一つと淡々と続けており、それが表彰されるなんて何だか気恥ずかしい思いもありました。

県知事が「声かけ見守り、どんなに世の中進んでも、人は人と会って話をし、笑顔を交わして元気になるのです。」と見守り活動の必要性を熱く語られました。改めて今回の表彰は大変うれしく、みんなの誇りです。

三十数年前に始めた頃を思うと、保健所の手続きに始まり、先進地の見学や研修。どれ程の忙しさだったろうと改めて当時の先輩方に労いの言葉を贈ります。美味しい料理を、季節感のある献立をとの思いは、今も一人ひとりに脈々と受け継がれています。

三十数年間事故もなく続けてこられたのは、毎回手の消毒はもちろん、調理器具の消毒や野菜の洗浄など、衛生面に気を付けているからです。そして、お弁当を開けられた時喜んでもらいたいという思いが一番です。決まった予算で衛生的で喜んで食べてもらう。なかなか難しい、そして楽しい活動です。まず私たちが元気で活動すること。毎回真剣に献立を考え調理をしている仲間、届けてくれる人、そして食べてくださる人がいる。見守り活動とはこんなことなのでしょう。皆さんに感謝しております。これからも私たちのお弁当で元気になり、一人暮らしを上手に、楽しく続けていただきたいと思います。



絵：日隈 捷雄(天道)

広報部員 原口 孝子

子育て支援グループ「トライアングル」新たなスタート

未就学の子どもと自宅で過ごすお母さんが会員の条件として、平成9年に誕生した「トライアングル」は、子どもを託児に預けての活動や親子行事は、回を重ねるごとに信頼関係が深まり、卒業しても交流は続いています。

会員の減少が続いたため、4月から会員の条件を見直し、子育て中の方ならどなたでも入れるようにしました。また、働いていても参加しやすいように活動内容も工夫しています。

生まれ変わった「トライアングル」で、子育て真っ最中の仲間を増やし、親子で楽しく過ごしてみませんか。

時 間 10時～12時

場 所 いきいきセンター「桂寿苑」(8・9・11・2月は別会場)

年会費 5,000円(前期4月と後期10月に納付)

※月会員制度もあります

日 程	内 容
6月18日(火)	革小物づくり①
7月16日(火)	革小物づくり②
8月20日(火)	野外活動
9月11日(水)	バドミントン(総合体育館)
10月29日(火)	レジンづくり
11月19日(火)	和菓子づくり(ひまわりの里)
12月17日(火)	クリスマス会
1月21日(火)	ピラティス&会議
2月18日(火)	みそづくり(ひまわりの里)
3月17日(火)	一年間の振り返り